

つなげます。世界の夢を

We connect dreams around the world.



We are the BRIDGE



The Asian-Pacific Children's Convention
in FUKUOKA

©APCC 1997

アジア太平洋子ども会議・イン福岡

NPOアジア太平洋こども会議・ イン福岡

APCC25周年記念制作映画
「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」
上映展開事業

2014年 5月 22日

NPOアジア太平洋こども会議・イン福岡

- 1989年アジア太平洋博覧会「よかトピア」参加事業としてスタートした市民レベルの草の根国際交流事業
- ビジョン：
「わたしたちAPCCメンバーは、OMO I Y A R Iの心をもった地球市民となりこども達の笑顔あふれる世界を実現します」
- 招聘事業／派遣事業／ブリッジ事業／育成事業 等



- 25周年事業：
APCC 25周年記念制作映画
市民で作る映画事業
映画『空飛ぶ金魚と世界のひみつ』
完成披露上映会
記念フォーラム、記念式典 等

「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」完成披露上映会

- 2013年1月、福岡空港や飯塚市など福岡県内各地で、映画の撮影が行われました。エキストラ、食材提供、炊き出しなど1000名を超えるボランティアの協力により、約20日間に亘る撮影を行い、オール福岡ロケの本作品が誕生しました。
- **■映画完成披露上映会** 2013年7月20日 アクロスふくおか イベントホール
 昨年7月に、映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」の完成披露上映会が行われました。当日は、映画の監督、プロデューサーに加え、主演者の舞台挨拶も行われ、APCC関係者、福岡の教育・学校関係者など600名を超える方が出席され映画を鑑賞されました。また、秋篠宮眞子内親王殿下も参加されました。上映後は、拍手と歓声が沸き起こりました。



■ **映画完成披露上映会** 2013年7月21日 レソラNTT夢天神ホール
映画の出演者やエキストラ出演、海外のPAなどを中心とした完成披露上映会を、翌21日に行いました。

■ **映画上映会** 2013年8月17日 早良市民センター
映画部会主催で、APCCボランティアの方に向けた、映画上映会を開催しました。当日は、300名を超える方々が参加し、映画の脚本家、出演者などが舞台挨拶を行い映画上映後はトークショーなども行われました。

■ **福岡市内学校関係者向け上映会** 2014年2月15日 福岡市立婦人会館（あいれふ）
福岡市内の校長先生、先生、PTA関係者向けに上映会を開催。映画を学校関係者に観てもらい、その後、学校の授業の中で映画を活用してもらうように映画教材化の資料を作成し説明を行いました。上映後に、前原小学校で上映、その後も、平尾小などいくつかの小学校で上映をしたいとの声があがりました。



映画上映会 報告（福岡県内）

- 2013年 8月17日（土） 映画部会主催上映会
早良市民センター 354名（脚本家・主演・地元出演者による舞台挨拶）
- 10月 6日（日） 小郡国際交流協会主催上映
小郡市 七夕ホール 52名
- 11月 3日（日） 粕屋町文化祭 上映会
粕屋町 サンレイク粕屋 約100名（粕屋町文化祭での上映）
- 11月 7日（木） 前原中学校 上映会
糸島市 伊都文化会館 約700名（前原中学校合唱祭での上映）
- 11月11日（月） 福岡女子大学上映会
福岡女子大学寮 約100名（女子大の寮にて上映）
- 2014年 2月15日（土） 福岡市内学校関係者向け上映
あいれふ 9F大研修室 53名（映画教材化の説明）
- 2月22日（土） 福岡県留学生センター主催 上映会
アクロス国際ひろば 3F 34名（日本文化塾での上映）
- 3月21日（金） 前原小学校3年3組 上映会
前原小学校 35名（授業の中での上映）
- 3月23日（日） 飯塚市 上映会（2回上映）
飯塚市 嘉穂劇場 1回目250名 2回目200名

映画上映会 予定（福岡県内）

- 2014年 4月28日（月） 福岡女子大学上映会
福岡女子大学 寮 （福岡女子大学にて2回目の上映会）
- 5月11日（日） 長丘 上映会
長丘公民館 （ロケ地にもなった長丘で上映）
- 5月18日（日） 九州大学 上映会
九州大学 伊都九州大学キャンパス
- 6月14日（土） こすもポリタンス 主催上映会
あいれふ 10F
- 7月18日（金） 映画部会主催上映会
レソラNTT夢天神ホール （期間中ホームステイを対象とした上映会）



早良市民センター（8/17）



嘉穂劇場（3/23）

映画上映会 展開ツール

特に福岡県内の青少年に広く映画を鑑賞してもらうため、教育現場で上映展開を進めやすくするツールとして、映画教材活用提案資料を作成。APCCの関係者と学校現場の先生たちとミーティングを重ね、映画の中に出てくる様々なテーマやキーワードを元に、教育課程にからめて授業等の中で映画を鑑賞してもらえるように教材化しました。（後述詳細記載）

また、映画の中で重要なモチーフとして登場する“絵本”の実出版にともない、APCCでも絵本を購入し、今後学校等で幅広く映画上映展開をしていく際に利用する導入ツールとして活用していきます。

利用方法としては、映画上映前の導入部で絵本の読み聞かせを行ったり、上映会を行った学校の図書館などに絵本を寄贈したりします。



福岡の指針

「福岡らしい国際教育」を通した、
世界に羽ばたき、行動する国際人の育成

- ・育成したい力
 - ↳ コミュニケーション力 (英語力)
 - ↳ 行動力 (チャレンジ精神)
 - ↳ 発信力 (伝え合う力) を育成
- 「福岡らしい国際教育の推進」
(平成25年度 福岡市の教育施策)

APCC事業の発展的活用による
「福岡らしい国際教育」の推進と
福岡発グローバル人材の輩出

福岡における「道德教育」「国際教育」の充実

APCCのビジョン

「OMOIYARIの心をもった地球市民」を育て、
「子どもたちの笑顔あふれる世界を実現」する

- ・福岡から日本、世界を変える若者=3つの力< CARE > をもったグローバルブリッジリーダーを育成
 - ↳ Communication (コミュニケーション力)
 - ↳ Action (行動力)
 - ↳ Respect (理解と思いやり)
- 「APCC グローバルブリッジリーダー育成ガイドライン」

福岡の指針とも合致したAPCCのビジョンをテーマに、
市民と現場教員が協力し制作した<映画>を教育活動に活用

映画の概要

文部科学省 学習指導要領の「道德」「外国語活動」「英語」「総合的な学習の時間」の内容に関連し、変化に富み、多様化の進む社会において、自分の頭で考え、判断し、様々な人たちと協働して課題を解決する児童生徒を育成するための「気づき」を与える内容。文部科学省選定映画。

ポイント

- ・グローバル人材に不可欠な「人としての基礎」である「思いやりの心」の大切さを、様々な「他者とのかかわり」(コミュニケーション)を軸として伝える
- ・「思いやりの心」を形成する、「チガクテイナ」「デアエテウレシイ」「あきらめない」という概念をわかりやすい3つのストーリーで描く

1 福岡に住む中学生「みどり」を主人公に、彼女と父親、父親が連れてきた中国人の新しい母親「リンリン」とのふれあい、心の葛藤を描く。

キーワード

- 異文化理解
- 家族の絆

2 小学生「将大」と、「将大」の家に短期ホームステイをしている韓国人「ドンジュ」の、言葉の壁によるすれ違いとそれを乗り越える様を描く。

キーワード

- 国際交流
- 友情

3 子どもの頃から人とかかわることが好きだった「天音」が、多様な文化が行き交う空港のスタッフとして成長する姿を描く。

キーワード

- 多文化社会
- 志 (キャリア)

映画の活用

小～大学生まで、対象・目的にあった活用が可能。土曜授業・親子イベントでの上映はもちろん、国際交流の事前事後学習の一環として、「体験」を増幅させるためのツールとしても効果的できる。

活用例①

土曜日の特別授業プログラム

対象 : 小～中学生、保護者、地域住民
ねらい: 映画を通した道徳性の育成や、多様な社会、共生の概念理解をうながすとともに、保護者、地域住民の意識向上につなげる。

* 次頁参照

活用例②

国際交流を軸としたプロジェクト型学習*

対象 : APCCスクールビジット受入校(小) 姉妹校交流等国際交流実施校(小・中・高)
ねらい: 国際交流に向けた意識・態度の醸成、体験を発展させる学習機会を創出する。
※高校生の場合、生徒会活動等で企画立案から実施させるプログラムにも。

活用例特別編

キャリア教育 (職業観の育成、地域理解)

対象 : 中～高校生、大学生
ねらい: 人とのかかわりを通して志を立てキャリアを形成することを理解するための教材として、または映画制作に関わった方を招いた授業により職業観の育成や多文化社会理解を促す。

福岡県の指針

豊かな心と志を持つ
たくましい青少年の育成をめざして

- ・青少年施策の方向 柱Ⅰ
 - ↳ 健康な心と体を持つたくましい青少年の育成
 - ↳ 社会にはばたくための力の育成
 - ↳ 豊かな心とチャレンジ精神を育む機会の提供
- 「福岡県青少年健全育成総合計画
(福岡県青少年プラン)」平成25年度

APCC事業の発展的活用による
社会にはばたく力と豊かな心もつ
自立した青少年の育成をめざす

福岡における「道德教育」「国際教育」の充実

APCCのビジョン

「OMOIYARIの心をもった地球市民」を育て、
「子どもたちの笑顔あふれる世界を実現」する

- ・福岡から日本、世界を変える若者＝3つの力< CARE >をもったグローバルブリッジリーダーを育成
 - ↳ Communication (コミュニケーション力)
 - ↳ Action (行動力)
 - ↳ Respect (理解と思いやり)
- 「APCC グローバルブリッジリーダー育成ガイドライン」

福岡県の青少年育成理念とも合致したAPCCのビジョンをテーマに、
市民と現場教員が協力し制作した<映画>を教育活動に活用

映画の概要

文部科学省 学習指導要領の「道德」「外国語活動」「英語」「総合的な学習の時間」の内容に関連し、変化に富み、多様化の進む社会において、自分の頭で考え、判断し、様々な人たちと協働して課題を解決する児童生徒を育成するための「気づき」を与える内容。文部科学省選定映画。

ポイント

- ・青少年の自立に不可欠な「人としての基礎」である「思いやりの心」の大切さを、様々な「他者とのかかわり」(コミュニケーション)を軸として伝える
- ・「思いやりの心」を形成する、「チガクテイイナ」「デアエテウレシイ」「あきらめない」という概念をわかりやすい3つのストーリーで描く

1 福岡に住む中学生「みどり」を主人公に、彼女と父親、父親が連れてきた中国人の新しい母親「リンリン」とのふれあい、心の葛藤を描く。

キーワード

- 異文化理解
- 家族の絆

2 小学生「将大」と、「将大」の家に短期ホームステイをしている韓国人「ドンジュ」の、言葉の壁によるすれ違いとそれを乗り越える様を描く。

キーワード

- 国際交流
- 友情

3 子どもの頃から人とかかわることが好きだった「天音」が、多様な文化が行き交う空港のスタッフとして成長する姿を描く。

キーワード

- 多文化社会
- 志 (キャリア)

映画の活用

小～大学生まで、対象・目的にあった活用が可能。土曜授業・親子イベントでの上映はもちろん、国際交流の事前事後学習の一環として、「体験」を増幅させるためのツールとしても効果的できる。

活用例①

土曜日の特別授業プログラム

対象 : 小～中学生、保護者、地域住民
ねらい: 映画を通じた道徳性の育成や、多様な社会、共生の概念理解をうながすとともに、保護者、地域住民の意識向上につなげる。

活用例②

国際交流を軸としたプロジェクト型学習*

対象 : APCCスクールビジット受入校(小) 姉妹校交流等国際交流実施校(小・中・高)
ねらい: 国際交流に向けた意識・態度の醸成、体験を発展させる学習機会を創出する。
※高校生の場合、生徒会活動等で企画 *次頁参照
立案から実施させるプログラムにも。

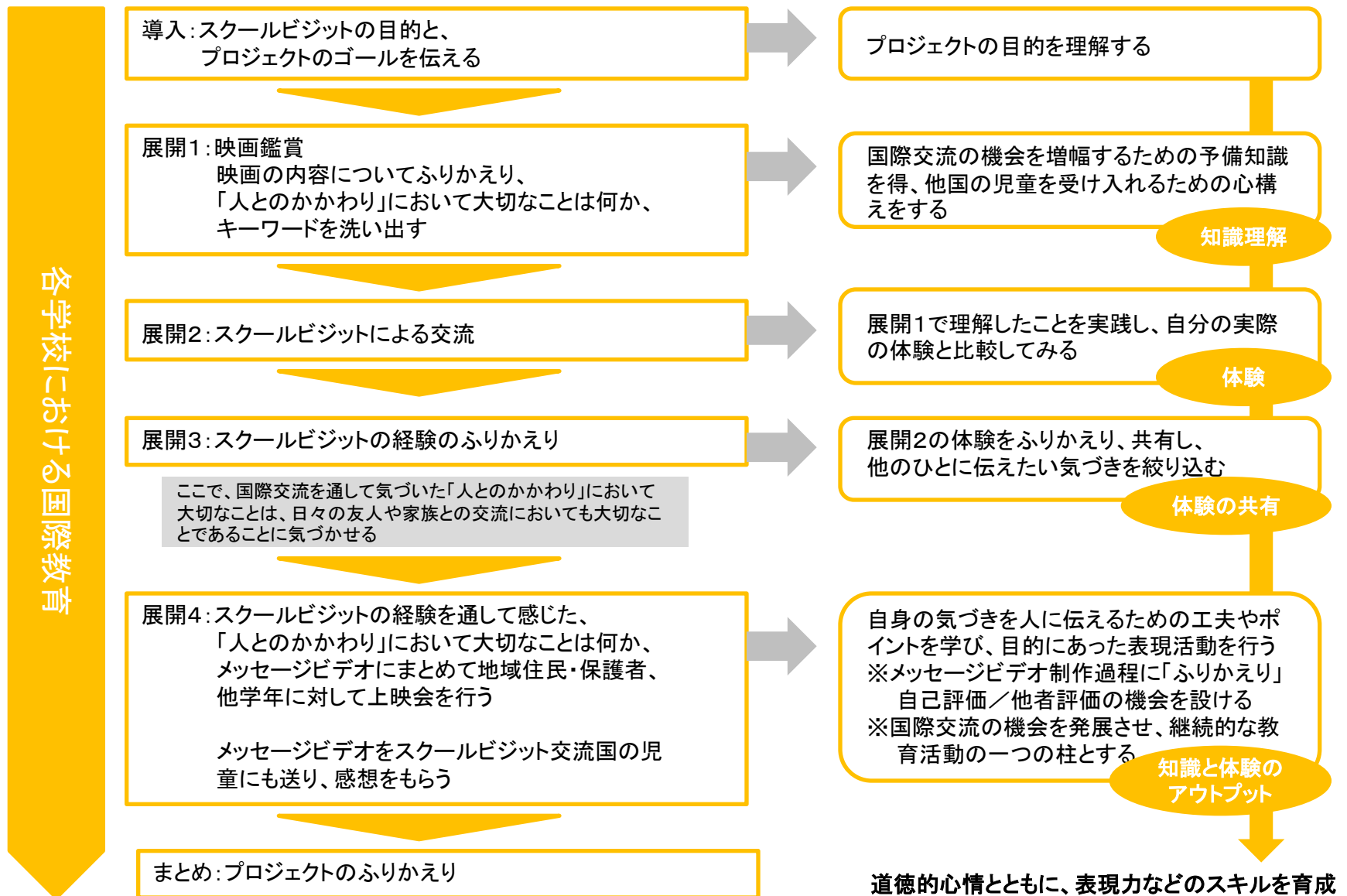
活用例特別編

キャリア教育 (職業観の育成、地域理解)

対象 : 中～高校生、大学生
ねらい: 人とかかわりを通して志を立てキャリアを形成することを理解するための教材として、または映画制作に関わった方を招いた授業により職業観の育成や多文化社会理解を促す。

映画を活用したプロジェクト型学習 実施イメージ

例) 国際交流の体験を増幅させ、「人とのかかわり」に重要なことは何かを理解し、そのためのスキルを身につけるためのツールとして映画を活用。プロジェクトのゴールとして、「人とのかかわり」に大切なことをまとめてメッセージビデオにして発信する。



関連情報

○平成25年度 福岡市教育施策 /福岡市教育委員会

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/23520/1/H25fukuokasinokyouseisaku.pdf>

「福岡らしい国際教育の推進」(5ページ)

⇒「国際交流・体験活動の充実」内に、アジア太平洋子ども会議・イン福岡との連携について記載あり

「道徳教育推進事業」(7ページ)

○福岡県国際理解教育推進事業 / (公財)福岡県国際交流センター

<http://www.kokusaihiroba.or.jp/project/international/education.html>

○道徳教育の推進のための取組と、国際理解教育推進のための取組みについて

/全国都道府県教育長協議会第1部会

<http://www.kyoi-ren.gr.jp/report/H23bukai/h23itibukai.pdf>

○土曜日を活用した取組の推進 /文部科学省

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doyou/index.htm

○グローバル人材育成戦略 /グローバル人材育成推進会議

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/global/1206011matome.pdf>

関連する学習指導要領の目標

<道徳>

学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。

<外国語>

小学校:積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

中学校:外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

<総合的な学習の時間>

横断的・探求的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

つなげます。世界の夢を

We connect dreams around the world.



We are the BRIDGE



The Asian-Pacific Children's Convention
in FUKUOKA

©APCC 1997

アジア太平洋子ども会議・イン福岡